

おはようございます。令和5年度もいよいよ三学期終業式を迎えました。この一年間を振り返っていかがだったでしょうか。学校行事、部活動、生徒会活動、とんぼ祭、学校外での得意分野のチャレンジ等、思い返してみるといろいろなことに挑戦してきたことが、頭をよぎるのではないのでしょうか。自分で判断し、行動を起こし挑戦すること、自治の精神を実現するためにはとても大切な過程です。ただ、皆さん自身がアンケート等で回答していらっしゃると思いますが、その過程では周囲との調整力を持つことが必要であると、理解しているようです。ただ自分のやりたいことだけを追求するのではなくて、相手の思いを受けとめながら自分の意見を伝えることは社会で生きていくためには大切になってきます。今日は、その辺りのことを少しお話したいと思います。

さて、今年一年間、みんなが学校生活に取り組む姿を見て思ったことは、クリティカルな考え方が皆さんの中に育ちつつあり、また育てていってほしいということです。クリティックとは「批評家」「評論家」のこと、クリティカルとは批判的客観的に物事を見ること。悪く言えばあらさがしをすること、よく言えば冷静に物事を見つめることといえるでしょう。これまでやってきた、あるいはこれからさらに深める探究的な学びの過程では、このクリティカルな姿勢がとても重要です。他の人の探究に対し、クリティカルな助言をすることで、相手は新たな視点に気づき、さらにブラッシュアップさせることができます。一方で、自分が設定した仮説に対しても、常に批判的に見つめながら検証していくことで、仮説の優位性がさらに証明されていくこととなります。先日の2年生の探究発表を見る中で、そうした姿勢が育っていることをしみじみ感じると同時に、さらにそうした姿勢を持ってほしいとも感じました。1年生の皆さんも来年に向けての方法論としてクリティカルな姿勢を来年の探究で生かしてほしいと考えます。一方、自分の中に疑問が生じた際に、はっきりと「わからない」旨を伝えて質問したり、理解できなかったのに知ったかぶりをしないことも、自分に対する批判的な姿勢、自らに対するクリティカルな姿勢であることにもなります。私自身、大学の卒業論文で、自分の仮説を証明するため、つい自分に都合の良いデータを集めがちになることを指導教官から指摘されたこともあります。皆さんには、ぜひ自らをクリティカルに見つめるような姿勢を持ってもらいたいと願っていますが、一方で自分の得意分野の輝きには自信を持ち自己を肯定して欲しいとも思っています。この二つはベクトルの方向性が異なるようにも見えますが、両者を両立させることにより、社会における各キャリアで活躍していく際に大いに役立つことになると思います。さらに、もう一つ両立させてほしいのは、他者に対してクリ

ティカルである際には、相手のことを思いやる気持ちを持ちながらクリティカルであってほしいということです。相手を論破していいのは、とんぼ祭の弁論大会の時のみだと思います。大人の社会では「バランス感覚」などということもありますが、バランス感覚を持ちながら、クリティカルな自分を形成することは、皆さんの将来にとって有益だと思いますので、ぜひ、心にとめておいてください。

さて、これからの社会で求められることの一つとして、最近企業や教育関係者の間で「ウェルビーイング」という言葉が注目されていることを、昨年のとんぼ祭のごあいさつの中で紹介させていただきました。ウェルビーイングとは、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを実感しながら仕事や学校生活を送り、地域や社会も豊かで持続可能な状態を実現していくことを言います。このウェルビーイングを目指しているか否かが、これからのキャリア選択の肝になってくるとも言われています。ところで、昨年の終業式はWBCの決勝戦で、終業式の間中決勝戦の様子が気になっていたところですが、今年も引き続き大谷翔平選手のことが話題になっていますよね。大谷選手が注目されるのはその活躍ももちろんですし、けた違いの報酬などにもあるかもしれませんが、やっぱりその活躍が日本人に元気を与えているし、積極的な社会貢献が、人々の心をとらえるのだと思います。物品だけでなく、その発言や行動が魅力的なんだと思います。つまり自分の得意分野で脚光をあびながらも、それだけではなく、ウェルビーイングを考える行動、まさにその部分が支持されているのではないのでしょうか。

私は深志高校の生徒会をはじめとした、生徒の皆さんの活動も、このウェルビーイングを目指すものになってほしいなあと常々考えていますが、この実現のために必要な要素として、自分に対する自己肯定とクリティカルな態度、他者へのクリティカルな姿勢と思いやりといった、最初にお話ししたこととも関連してくるのだと思います。いかがでしょうか。

最後になりますが、この冬は暖かい冬だったにもかかわらず、3月に入って結構雪が多かったように思います。そんな中、朝早くから雪かきしてくれた生徒の皆さんや先生がたには心よりお礼を言いたいと思います。また、この一年、苦しんでいる友達の話しを、相手を受けとめながら聞いてくれた人もいました。この場を借りて、あらためてお礼を言いたいです。さて、年度末の休みとなります。健康には十分気を付けて、そして自転車の事故にあわないように気を付けて、学びに、読書に、思索に、自分の得意なことに思いっきり取り組んでください。